



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 ゼット株式会社
コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,120	4.9	616	2.4	717	5.8	438	11.9
2023年3月期第2四半期	24,906	10.5	602	174.0	761	64.4	498	32.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 490百万円 (32.6%) 2023年3月期第2四半期 728百万円 (48.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	22.43	
2023年3月期第2四半期	25.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	29,795	13,268	44.5	677.86
2023年3月期	28,863	12,934	44.8	660.79

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 13,268百万円 2023年3月期 12,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		8.00	8.00
2024年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	1.2	800	19.8	800	34.4	600	33.8	30.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	20,102,000 株	2023年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	527,170 株	2023年3月期	527,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	19,574,845 株	2023年3月期2Q	19,574,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需及びインバウンド需要の緩やかな回復等、社会経済活動の正常化への動きが見受けられました。しかしながら、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇、地政学上のリスク事象の拡大、金利・米ドル円為替相場の動向等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、基本方針として「新しい価値の創造」「利益の創出と社会的使命の両立」「人材の戦略的活性化」「次世代DX卸ビジネスモデルへ向けて」を定め、特に具体的な施策として「構造改革の更なる前進」「ESG経営の推進」の2つを進めております。「構造改革の更なる前進」については、①収益性の向上 ②利益を伴った売上拡大 ③在庫・物流改革に取り組んでおり、「ESG経営の推進」については、①環境への対応 ②社会との調和 ③ガバナンスの強化に取り組んでおります。この方針及び施策のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は26,120百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は616百万円(前年同期比2.4%増)、経常利益は717百万円(前年同期比5.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は438百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

売上高は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動制限緩和が進み各種競技大会が通常開催されたこと等もあって営業活動が正常化したこと等により増収となりました。

営業利益は、製造部門において原材料価格上昇、対米ドル円安の進展等により製造原価が上昇し、売上総利益率の低下に加え、関西の物流拠点移転等もあって販売費及び一般管理費の増加がありましたが売上高の増加により微増益となりました。

経常利益は、保険解約返戻金が35百万円増加しましたが、前年同期は助成金収入が111百万円あったため、営業外収益が減少したことにより減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減益により減益となりました。

部門別の経営成績は次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門のうち、アスレチック市場においては、行動制限緩和が進み学校の部活動をはじめとする屋内外のスポーツが正常化し、ほとんどの競技大会が通常開催される等、用品需要の高い状態が継続しています。特に需要が回復した室内競技のテニス・バドミントン及び卓球カテゴリーが好調でした。また、近年の世界的な大会における日本代表の活躍もあって、野球・ソフトボールカテゴリー、サッカーカテゴリーも堅調でした。ライフスタイル市場においては、スニーカー等のカジュアルシューズが堅調でした。アウトドアカテゴリーは、購買意欲に落ち着きが見られております。ボディケア市場は、ほぼ横ばいでした。

この結果、売上高は25,332百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

(製造部門)

製造部門は、野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」はオーダーグラブや軟式高機能バットが引き続き高評価を得ており、また、2024年に基準が変更される硬式金属バットも試用者から高い評価を得ております。バスケットボール用品の「コンバース」は、前年同期の納期遅延による反動増に加え、新規チーム受注の増加により堅調でした。しかしながら製造部門の経営環境は、原材料価格の上昇や米ドル円為替相場の影響による製造原価の上昇等により不透明な状況が続いております。

この結果、売上高は135百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

(小売部門)

小売部門は、登山者がコロナ禍前の水準まで戻りつつある中、専門性の高い品揃えと接客の充実による顧客満足度を高めることに注力しましたが、高価格帯商品の需要が一段落したこともあり売上高は微減となりました。

この結果、売上高は252百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、2023年5月1日にスポーツ施設運営事業を譲渡しました。

物流部門は、保管料収入は増加しておりますが、外部受託業務の取扱数量の減少の影響により低調でした。なお、西日本の物流センターは、2023年8月に移転しました。

この結果、売上高は399百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は22,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ728百万円増加しました。これは主に商品及び製品が346百万円、現金及び預金が315百万円、売掛金が48百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円増加しました。これは主に投資有価証券が170百万円、敷金が94百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は29,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ932百万円増加しました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は14,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ606百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が517百万円、賞与引当金が175百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が30百万円増加したものの、長期借入金が32百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は16,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ598百万円増加しました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円増加しました。これは主に利益剰余金が282百万円、その他有価証券評価差額金が43百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.5%（前連結会計年度末は44.8%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により772百万円獲得し、投資活動により294百万円使用し、財務活動により168百万円使用した結果、当第2四半期連結累計期間における残高は6,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ315百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は772百万円（前年同期比918百万円減少）となりました。これは主に棚卸資産の増加386百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益717百万円、仕入債務の増加582百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は294百万円（前年同期比272百万円増加）となりました。これは主に、敷金の差入による支出134百万円、投資有価証券の取得による支出108百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は168百万円（前年同期比48百万円減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入100百万円があったものの、配当金の支払額155百万円、長期借入金の返済による支出88百万円があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,232	6,548
受取手形	603	529
売掛金	8,829	8,877
電子記録債権	1,411	1,515
商品及び製品	3,992	4,339
仕掛品	67	74
原材料及び貯蔵品	197	229
返品資産	327	253
その他	171	197
貸倒引当金	△127	△130
流動資産合計	21,706	22,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,683	2,482
減価償却累計額	△2,120	△1,914
建物及び構築物 (純額)	563	568
土地	1,228	1,228
その他	792	819
減価償却累計額	△668	△678
その他 (純額)	124	140
有形固定資産合計	1,915	1,937
無形固定資産		
その他	131	110
無形固定資産合計	131	110
投資その他の資産		
投資有価証券	4,573	4,744
長期貸付金	11	10
敷金	209	303
その他	397	341
貸倒引当金	△82	△87
投資その他の資産合計	5,109	5,312
固定資産合計	7,156	7,360
資産合計	28,863	29,795

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,875	6,393
電子記録債務	5,574	5,638
短期借入金	150	194
未払法人税等	275	287
未払消費税等	81	102
賞与引当金	225	400
返金負債	386	299
その他	837	695
流動負債合計	13,406	14,012
固定負債		
長期借入金	175	142
繰延税金負債	1,033	1,063
退職給付に係る負債	313	320
長期未払金	11	11
その他	989	975
固定負債合計	2,521	2,514
負債合計	15,928	16,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	6,130	6,412
自己株式	△74	△74
株主資本合計	10,029	10,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,877	2,920
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	35	41
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	2,905	2,956
純資産合計	12,934	13,268
負債純資産合計	28,863	29,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	24,906	26,120
売上原価	20,316	21,434
売上総利益	4,590	4,686
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	208	232
運賃及び荷造費	487	464
賃借料	142	131
役員報酬及び給料手当	1,397	1,381
貸倒引当金繰入額	2	9
賞与引当金繰入額	373	374
減価償却費	58	73
その他	1,317	1,401
販売費及び一般管理費合計	3,987	4,069
営業利益	602	616
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	31	46
保険解約返戻金	-	35
受取賃貸料	4	4
業務受託料	3	2
助成金収入	111	-
その他	13	13
営業外収益合計	164	103
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	5	2
営業外費用合計	6	3
経常利益	761	717
税金等調整前四半期純利益	761	717
法人税、住民税及び事業税	260	272
法人税等調整額	2	6
法人税等合計	263	278
四半期純利益	498	438
親会社株主に帰属する四半期純利益	498	438

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	498	438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	43
繰延ヘッジ損益	30	2
為替換算調整勘定	19	5
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	230	51
四半期包括利益	728	490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	728	490

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	761	717
減価償却費	61	77
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	168	175
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	7
受取利息及び受取配当金	△31	△47
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△267	△78
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△334	△386
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,557	582
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17	20
その他	△126	△98
小計	1,783	978
利息及び配当金の受取額	31	47
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△123	△253
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,690	772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△10	△82
無形固定資産の取得による支出	△6	-
投資有価証券の取得による支出	△6	△108
敷金の差入による支出	△0	△134
敷金の回収による収入	1	24
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	-	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21	△294
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	100
長期借入金の返済による支出	△103	△88
配当金の支払額	△97	△155
その他	△15	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216	△168
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,472	315
現金及び現金同等物の期首残高	4,872	5,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,345	6,248

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。